

「関西ブロック安全大会2023」開催

“「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ！”

—NTTグループと通信建設会社による合同開催—

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

2023年10月6日、「関西ブロック安全大会2023」が関西エリアのNTTグループ5社、ITEA関西支部（通信建設会社4社）により合同開催されました。

今年度はアフターコロナ後の一体感の醸成、リモート開催で蓄積したノウハウと集合形式のメリットを併用する集合会議（リアル）とインターネットを活用した会議（オンライン）の融合（ハイブリット）形式での開催となり、会場となった建設交流館グリーンホールには約250名が参加し、部内講師による特別講話や部外講師による安全講話に加え、事故再現映像の視聴など、参加者が一体となって安全意識の向上が図れるプログラムとなりました。

また、本大会に前後し、関西エリア各県域で危険体感研修も実施され、参加者に身をもって危険を体験してもらい過去の事故から類似事故を絶対に起こさないという意識付けにつなげる機会とすることができました。

開会式

開会にあたり、これまでに事故の犠牲となられた方々に、謹んで哀悼の意を表し、参加者全員で黙祷を捧げた後、NTT西日本関西支店 小川支店長（写真1）から『「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」の統一スローガンのもと事故撲滅に向けて取り組んでいます。残念ながら今年度も西日本エリアで4件、関西エリアで1件の人身事故が発生している状況です。

また昨年度は西日本エリアで17件、関西エリアで3件の事故が発生しており、件数として、今年度は減少している傾向ではありますが、事故が発生した原因は「基本動作の不徹底」や本来なら危険であるにもかかわらず危険と感せず作業を実施した結果、事故が発生したところが多く、安全意識の低下を回避する意味でも今回の安全大会で基本動作の徹底の意識を高めてもらいたいと思います。

そのために本日は2つの講話を用意いたしました。1つ目はNTT西日本 サービスエンジニアリング部 安全推進室 大森室長からNTT西日本グループにおける安全の取り組みについて、もう1つは外部講師による能力アップで災害ゼロをテーマにヒューマンエラーと環境整備不足に着目した講話について実践を交えて聴く事ができるので、ぜひ皆様の職場で取り入れていただきたいと思っています。

昨年の挨拶でも申し上げた通り、労働安全の基本は「1人ひとりがかげがえのない人」という「人間尊重の

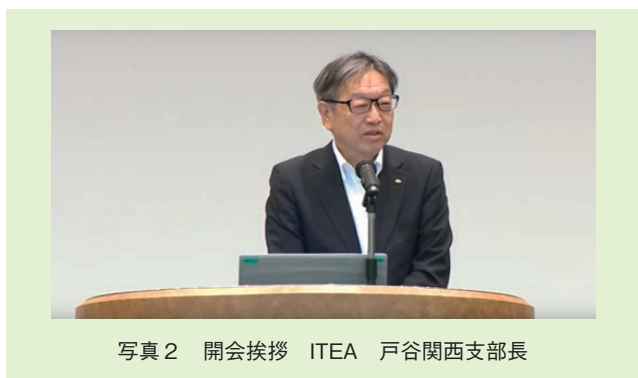


写真1 開会挨拶 NTT西日本 小川関西支店長

考え方」であり、朝元気に職場に出かけて夜元気に帰ってくるという、あたりまえのことを繰り返すためにも自分の命、仲間の命は自分が守るという強い思いで皆様と一緒に安全な職場を作っていきたいと思えます。

最後に、皆様のご健康と職場の安全のさらなる推進を祈念して挨拶とさせていただきます』とのご挨拶がありました。

続いてITEA関西支部 戸谷支部長（写真2）より『厚生労働省の安全統計死傷者数の統計を見ると死亡者数は毎年減少しているが、死傷者数はほとんど変わらない。特に平成10年代以降横ばいが続いてきて最近若



干増えてきている傾向であります。

なんとかこれをゼロに、あるいは減少させるように持っていくのが我々の使命であると考えております。

何か新しい方法を見つけてそれを実践できれば一番いいが、これには「安全に王道なし」と言われているように従来から効果があったものを繰り返し、実施するしかないと考えています。

先ほど小川支店長からの話にもあったようにNTT西日本グループ様からの方針のもとで、私どもは上半期は安全の大切さを皆が共有して仲間からこのような悲惨なことを絶対出さないということで施策を展開したり、NTTフィールドテクノ様からの指導もあり、過去5年の死亡事故をもう一度振り返る、あるいは本当に被災にあった方々が作られた生々しい映像をもとにグループディスカッションをし、安全の大切さを宣言するという試みも実施してきたところであります。

こういったものを繰り返しながら事故ゼロをこれからも目指していきたいと思えます。

さらに今年は久しぶりに危険体感研修が実施されます。従来ですと一カ所集中での開催となっていたため、遠方の方や当日に都合がつかない方もいましたが今回は

+ 関西ブロック安全大会2023 ポータルサイト

	<開会式>
【オンライン】 (10/6 13時 ～16時)	<特別講話> 『NTT西日本グループの安全の取り組み』 NTTフィールドテクノ サービスエンジニアリング部 安全推進室 室長
【WEB視聴】 (10/10～11/10)	<事故再現映像視聴> 忘れてはいけない重大人身事故「巻き込まれ(ウインチ)」
	<安全講話> 『能力アップで災害ゼロ』 講師:古橋 麻美
	<閉会式>
【WEB視聴】	<安全関連ツール紹介> 関連会社等の安全に関するツール等を紹介 通信建設会社:4社・ツール提供会社:25社
【WEB視聴】	<危険体感研修映像> 10/4 10/5大阪旭ビル実施模様 ①昇柱転落体感 ②張力反動体験 ③電気の怖さ(短絡実演) ④落下物衝撃体験 ⑤酒酔い歩行体験 ⑥ぶら下がり体験 車両展示:アイチコーポレーション/タダノ
【WEB視聴】	<事故再現映像> 「巻き込まれ(ウインチ)」 「電柱落下(共架柱建替え工事)」

図1 実施内容

複数圏域で複数日開催であり、たくさんの方に参加いただきたいと思ひます。

一度身をもって体感したものは忘れません。そういう観点からも安全に実施できる危険体感研修に参加いただければと思ひます。

今日は2つの講話があるので、頭と心をブラッシュアップして、さらに危険体感研修でその体験を真のものにしてほしいと思ひます。

最後に、私どもの会社には入り口に安全のポスターが掲げられており、そこには家族の「笑顔」が写っています。

毎日、そのポスターを目にする中で、我々の仕事はい

つも家族が「笑顔」であることが最高の幸せであり、それがずっと続いていくよう、本日の内容を取り入れてブラッシュアップした気持ちで引き続き頑張っていきたいと思ひます』との挨拶がありました。

引き続きNTTグループ様、通信建設会社代表者の2名による安全宣言があり（写真3）、安全大会が開始されました。

大会の実施内容

今大会では、NTTフィールドテクノ サービスエンジニアリング部 安全推進室 大森室長よりNTT西日本グループの安全に対する取り組みについて、直近の事故の状況等を踏まえて紹介がありました。

その後、事故再現映像を全員で視聴し、外部講師による安全講話では、ヒューマンエラーの根本的原因である「脳のメカニズム」に着目し「脳を創って、安全を創る」ための実際に取り入れやすいトレーニング法を（株）やさか創研の古橋様より紹介いただき、実際に会場でも手や頭を動かしながら全員参加型の非常にアクティブな90分間の講演を実施していただきました。

会場での模様はポータルサイトでも配信され講話や映像等、会場の模様の他、各社の安全ツールや前日に大阪旭ビルで実施された危険体感研修の様子も掲載され、多くの方に視聴いただける機会となりました。

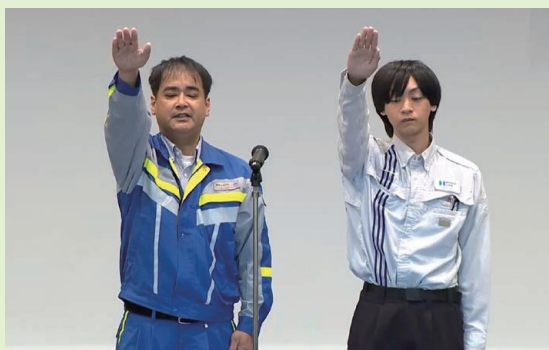


写真3 安全宣言
NTTフィールドテクノ 兵庫設備部 平藤 智也様（左）
ミライト・ワン キャリアウエストカンパニー 福井 陸斗（右）

事故防止に向けた取り組みの紹介

講師：NTTフィールドテクノ サービスエンジニアリング部 安全推進室 室長 大森 崇弘 様

直近の事故（昨年と今年）を分析すると不注意や基本動作の不徹底によるものが約85%

人の記憶はいい加減で手抜き、省略をする思い込み（過去にこうだったから・・・）、自分の見たいものしか見えない

→人間の特性が事故につながってくる

→ハード面とソフト面から対策を実施

- ◆高所作業車からの転落や抜柱時の穴建車との挟まれ事故等からバケット車への「ランヤードフックセンサ」の取付や定格荷重に合わせた「モーメントリミッター付の穴掘建柱車」等のハード面での導入
- ◆VRコンテンツやNWカメラの活用
- ◆ナッジ理論による「危険」への意識付けと自然と安全な行動ができる仕組みの構築

「頭で理解し、体で覚え、心に誓う 自分の命・仲間の命を自分が守り家族の笑顔も守る」

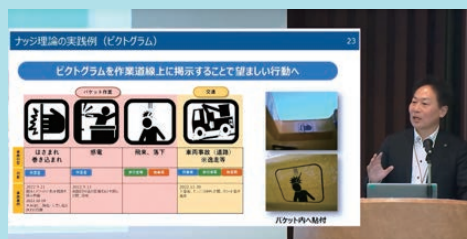


図2 大会の様子

能(脳)カアップで災害ゼロ! 講師: (株)やさか創研 古橋 麻美 様



【安全講話の内容】

- ◆目で見て、頭で認識していなかったら、現場で危険なポイントも見落としてしまう
→ヒューマンエラーにつながる
- ・手を動かしながら目で見て頭と体の動きをチェック
- ・情報は紙に書くことで記憶に定着する
- ・「何」という質問を1日3つ考えてみる

- ◆心身ともに健康な状態を創るために「今」からできること
- ①テンポ116 リズム運動
- ②食事の時「おいそう」「おいしい」「おいかった」
- ③寝る時「よかったあ〜ありがとう」
- ④起きた時「あ〜よく寝た」
- ポイントはできることをできる時に毎日継続すること

事故再現映像視聴 ～忘れてはいけない重大人身事故～「ウインチによる巻き込まれ事故」

【事故概要】

平成28年5月21日
和歌山で誘導対策用ケーブルを架渉するため、シャフトドライブウインチを使って牽引時に右腕を巻き込まれ切断した痛ましい事故の様相を再現



会場ロビー 各社安全ツール紹介



社名	会場展示内容
NTTレンタル・エンジニアリング(株)	どこでも"me" REC、REC's GAJUMARU 他
大東電材(株)	高低圧検電器(照明付・伸縮式)、熱中症予防商品Me-momo、高輝度蓄光蛍光テープ、エルクライトレモン、熱中症予防商品カナリア 他
(株)ナカオ	アルミ製トラック昇降ステップ 他
(株)ミライト・ワン	MH昇降用手すり(テーパー型)、MH昇降用手すり(ダイヤ型アタッチメント)
エクシオグループ(株)	無線型光作業確認ツール
日本コムシス(株)	脚立アンダーベース
日本電通(株)	水中ポンプ・排水ホース巻き取り器

会場展示以外にもWEB上で各社の安全ツールが紹介されました

閉会式

閉会に当たりNTTファシリティーズ西日本事業本部 豊田事業本部長 (写真4) から『今回NTTグループ各社、通建会社各社とこれほど多くの方に安全についてともに考える機会となり、意義のある大会になったのではないかと思います。』

NTT統一スローガンである過去の事故の教訓を忘れない、活かしていくというテーマにあるように、大森室長の講話にあったバケツからの転落、抜柱時の扶まれ事故、またその後の再現映像の中からも事故の恐ろしさ、基本動作の大切さを胸に刻むことができたのではないかと思います。



写真4 閉会挨拶 NTTファシリティーズ 西日本事業本部 豊田事業本部長

そのメニューはまさに私たちが過去の事故から得てきた教訓をもとに作られたものであり、参加された方は、

見て・聴いて・触れて・感じた恐怖を忘れないでいただき、同時に改めて認識した基本動作の重要性を実作業での危険回避に向けて反映してもらえればと思っております。

本日講話いただいた古橋先生の講演もその体感につながるものであったのではないかと思います。

ヒューマンエラーの根本は脳のメカニズムに起因しており、体を使った体験で脳と体はつながっている事を身

をもって感じる事ができました。

紹介いただいたトレーニング法を職場や現場で実践して事故防止につなげていければと思っております。

最後に本日の安全大会を通じて、高まった安全意識を忘れずグループ丸となって「オール事故ゼロ」の実現と「つなぐ使命」を果たすことを決意いたしまして閉会の挨拶といたします』との閉会挨拶があり、最後に全員で安全スローガンの唱和（写真5）を行いました。

おわりに

本大会で今一度、「安全」に関して見つめ直し、「人身事故」「設備事故」が防止され、NTT様はもとより、お客様に対して「きっちり工事」がお届けでき、「信頼される」通信建設業界を目指すことを誓い合い閉会しました。

本大会にお忙しい中ご参加いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、各地域の危険体感研修を含めて、大会の諸準備、運営にご協力いただいた関係者の皆様に心からお礼申し上げます。



写真5 安全スローガン唱和
NTTフィールドテクノ 京都設備部 藤田 勇輝（左）
日本コムシス 小谷 郁弥（右）

各府県域の危険体験実施状況

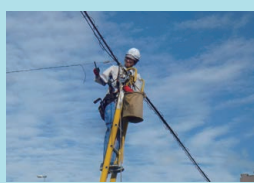
今年度は10月6日の安全大会（本大会）に合わせて、2019年まで例年会場で実施していた危険体感研修を各県域で実施することとなりました。

過去の事故を振り返ると類似事故が繰り返し発生していることから、同様の事故を発生させないため、オンサイト従事担当等を対象として「基本動作の再認識と更なる安全意識の高揚」を図ることを目的とし、関西エリア（6エリア）で約2カ月にわたって順次実施する初めての試みとなりました。

実施に当たってはツールの運搬や研修設備の構築、当日の補助や説明等の運営を各県域のNTTグループの皆様と通信建設会社各社が協力することで6エリアで計18日、参加人数約590名とこれまでにない規模で多くの方に体験していただく事ができました。

参加された方からも、身をもって「怖い思い」を体験し、「安全の大切さ」を認識できたといった感想を数多くいただきました。

10月4日 大阪エリア実施模様



実施メニュー(大阪)

- ①昇柱転落体感
- ②張力反動体感
- ③電気の怖さ体験
（短絡実演）
- ④落下物衝撃体験
- ⑤酒酔い歩行体験
- ⑥フルハーネスの
ぶら下がり体験

- ◇車両展示
（株）タダノ
（株）アイコーポ
レーション

	実施日	実施場所	参加者数
大阪	10/4・10/5	NTT旭別館	92
奈良	10/17～ 10/23	NTT大宮別館・ 大中別館	82
京都	10/31～ 11/2	NTT九条別館	100
兵庫	11/7・11/8	六甲MOC	74
滋賀	11/14・ 11/15	NTT大津別館	100
和歌山	11/21～ 11/29	NTT田辺元町別 館・和歌浦別館	144